

開催概要

このたび、富士宮市で「第4回全国小水力発電大会 in 富士宮」を本年12月13日、14日、15日の3日間にかけて、開催いたします。

本大会は、小水力発電のあらゆる関係者が一堂に会し、産官学民の垣根を越えて情報や課題を共有し、小水力発電のさらなる普及を図るものです。

開催地である富士宮市は、富士山の南西麓に位置し、豊富な湧水に恵まれ、標高は、富士山頂の3776メートルを最高に、最低地点は35メートルで、日本一標高差のあるまちです。市内の主な河川は、富士川、芝川、潤井川であり、水力発電事業は主に芝川、潤井川を利用してなされています。また、それらの豊富な湧水を利用することで田畑が開け、農業用水、生活用水として重要な役割を果たし、製紙工業や酒製造業、養鱒業などの水と関係の深い産業が発達してきました。

本大会のテーマは「未来を照らす、地域の水の恵み」です。

第1日目は、環境政策論を研究されている千葉大学大学院社会科学研究院の倉阪秀史教授の基調講演を皮切りに、地域での再生可能エネルギーの活かし方をテーマにしたパネル討論を行います。

第2日目の7つの分科会では、課題や情報を共有し具体的なノウハウを取り上げながら、第1日目の議題を掘り下げます。地域貢献と経営の両立、電力の六次産業化、富士宮市内における水力発電の新たな取組、農業用水エネルギーの新たな可能性、輸入水車の活用、小水力発電を担う人材の育成、小水力発電甲子園などの分科会を設けます。また、関連企業の情報交換、商談の場として、両日ともに同会場にて企業展を開催いたします。

開催日	2018年12月13日(木)・14日(金)15日(土)
開催地	静岡県富士宮市(富士宮市民文化会館、浅間大社参集所)
主催	全国小水力発電大会実行委員会、全国小水力利用推進協議会
主管	富士宮市
後援	総務省、文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省、静岡県、一般財団法人新エネルギー財団、一般社団法人ターボ機械協会
協賛	朝日機工株式会社、イームル工業株式会社、株式会社イノアック住環境、NTN株式会社、王子エフテックス株式会社東海工場、株式会社海洋開発技術研究所、株式会社柿本商会、株式会社協和コンサルタント、株式会社クボタケミックス、株式会社栗本鐵工所、株式会社ケネック、株式会社広洋技研、株式会社三英社製作所、株式会社シーテック、JAGシーベル株式会社、シン・エナジー株式会社、株式会社新日本コンサルタント、鈴与商事株式会社、積水化学工業株式会社、株式会社センシズ、株式会社セントラル・ニューテクノロジー、ダイプラ株式会社、株式会社田中機械工業所、田中水力株式会社、WWS-JAPAN株式会社、中部電力株式会社、東京発電株式会社、東芝プラントシステム株式会社、日本エンジニア株式会社、日本小水力発電株式会社、日本水力開発株式会社、日本ポリエチレンパイプシステム協会、能代電設工業株式会社、株式会社北陸精機、三井金属エンジニアリング株式会社、株式会社三井三池製作所、三峰川電力株式会社、株式会社明電舎、若築建設株式会社(五十音順)
参加費	2,000円(交流会参加費は別途)
事務局	全国小水力発電大会実行委員会 住所:〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150番地 TEL:0544-22-1131 FAX:0544-22-1207 E-mail:kankikaku@city.fujinomiya.lg.jp